



ゆり かご



認定NPO法人
とくしまコウノトリ基金

活動レポート2024 Vol.5





認定NPO法人とくしまコウノトリ基金
理事長 熊谷 幸三

コウノトリが舞う 笑顔輝く未来に

「ゆりかごVol.5」の発刊にあたって

2019年8月にNPO法人として設立した「とくしまコウノトリ基金」は、2023年8月に徳島県から県内では9番目となる「認定NPO法人」として認められました。

これは設立後4年間の活動実績と運営の公益性の高さなどが評価されたものです。

これも賛助会員、協力会員、ボランティアチーム「クレイドル」メンバーをはじめ多く皆様のご支援の賜物と、心より御礼申し上げます。

「認定NPO法人」への年会費やご寄付は税制上の優遇措置の対象となり、多くの方が参加しやすい環境が整ったと思っています。

さて5期目（2023年度）はビオトープの整備、ボランティアチームの活動に注力したほか、環境学習プログラム提供先の拡大、コウノトリを通じて全国の活動団体や研究機関との交流など、活動の幅を広げました。この小冊子では、これらの活動の一端を紹介していますので、ぜひお目通しください。

2024年7月から始まる第6期においても、コウノトリやツルをはじめとする環境保全と地域を元気にするための様々な取組を進めて参りますので、皆様方のお一層のご支援ご協力をお願い申し上げます。

会員数 177（2024年6月）

賛助会員 107（団体84 個人23）

協力会員 59 正会員 11



コウノトリの飛来数増加



ビオトープでの環境学習



地域を元気にする取組



ビオトープの整備



フィールド活動拠点
大谷ベース



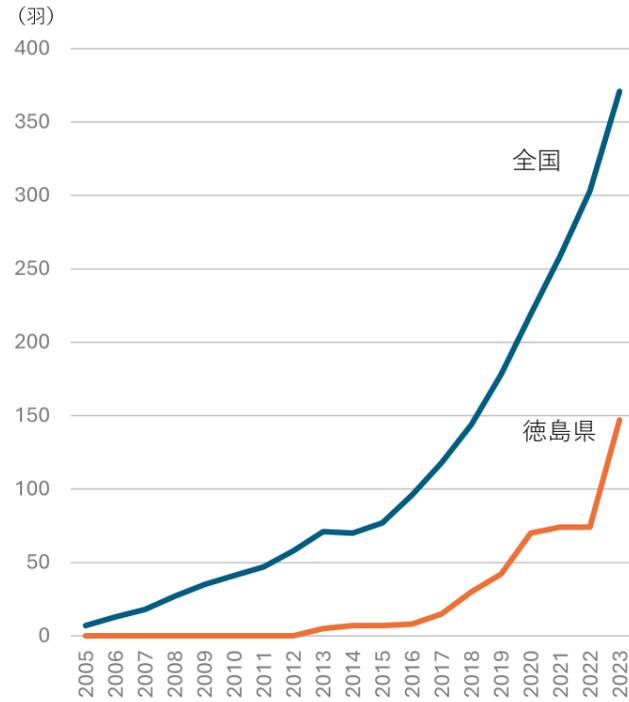
What? ▶ コウノトリの現状

野外個体数が増加

1971年に野生絶滅し、2005年に放鳥が始まってから野外個体は徐々に増加し、2023年末には全国で371羽となりました。（兵庫県立コウノトリの郷公園調べ）

徳島県内での確認数も増え続け、足環で個体識別が出来たものだけで、2023年の年間確認数は147個体、2013年以降に徳島県へ飛来したことがあるコウノトリは240個体を超えました。

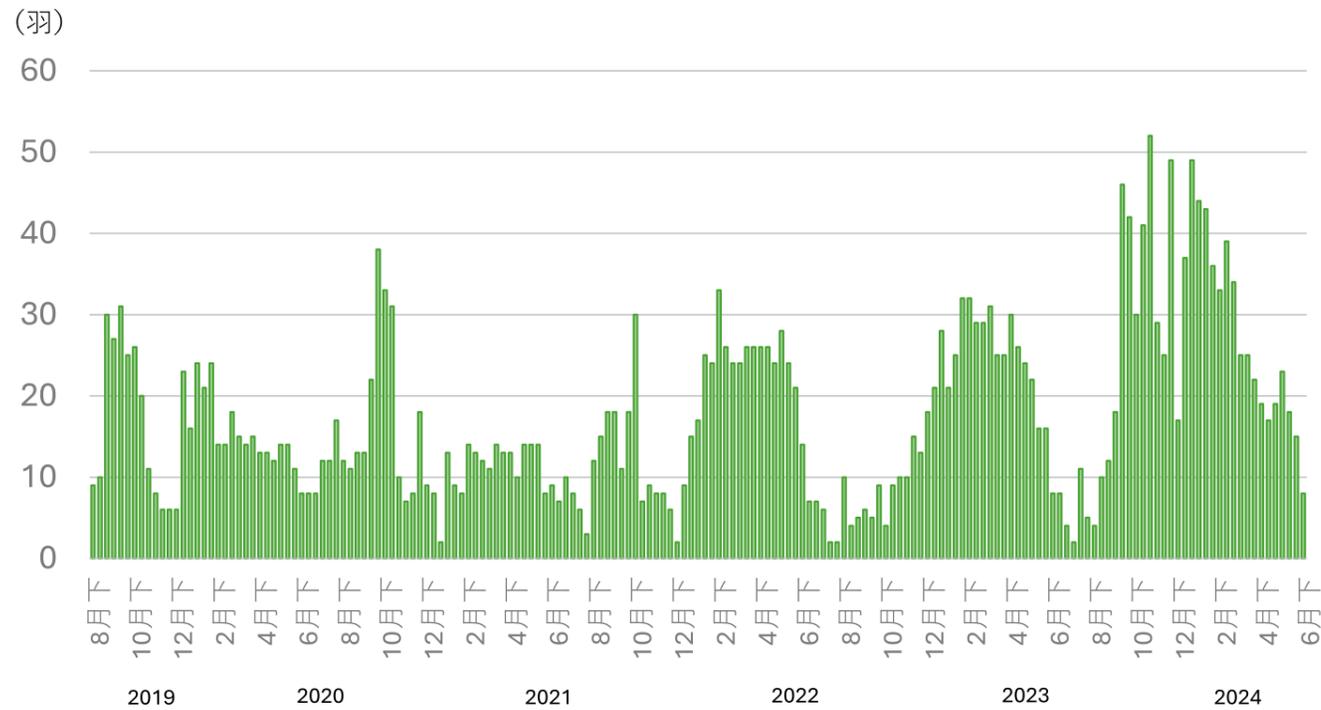
また2023年は、香川県まんのう町で1ペアが初めて繁殖に成功し、四国での繁殖は2ペアとなりました。2024年は、関東、北陸、中国などで繁殖するペアが増え、野外個体数は500羽前後に達すると予想されます。



野外個体数の推移 ※全国の個体数は兵庫県立コウノトリの郷公園のデータを使用

徳島県内の確認数

鳴門で繁殖している「鳴門板東ペア」は完全に定着していますが、他のほとんどが2歳以下の若い個体です。これらフローターと呼ばれる繁殖に参加しない個体は、本州と四国を頻繁に行き来しています。フローターの動きによって、県内の個体数は年間を通して大きく変動しています。



徳島県内に滞在するコウノトリの数の季節変動 (2019-2024)

What? ▶ 鳴門板東ペアの状況

徳島県内での繁殖

鳴門市では、J0044（オス；ゆうひ）とJ0480（メス；あさひ）の「鳴門板東ペア」が2017年から8年連続して野外繁殖に成功しています。

2024年は6月にこれまでで最大の4羽が巣立ち、鳴門市で巣立ったコウノトリは累計で24羽となりました。

2017年に巣立ち2023年に九州で初めて繁殖に成功したJ0141（オス；なる）は、2024年も6月下旬現在、子育てをしています。

しかし、県内外において送電線への衝突事故などにより、これまでに7羽が死亡してしまい、1羽が長期消息不明です。

「鳴門板東ペア」は、順調に繁殖を続けているものの、県内で繁殖するペアは、依然としてこの1ペアのみです。

徳島県をより安定的な繁殖地にするためには、複数の繁殖ペアの形成が望まれます。

生まれ年	個体番号	性別	愛称	居場所等
2017	J0140	♂	蓮(れん)	2020年4月香川県で事故死
	J0141	♂	なる	佐賀県杵島郡(2024年6月下旬)
	J0142	♀	あさ	2018年2月鳴門市で事故死
2018	J0181	♀	歌(うた)	2020年10月栃木県で事故死
	J0182	♀	百(もも)	不明(三重県2018年10月下旬)
2019	J0223	♀	藍(あい)	兵庫県豊岡市(2024年6月上旬)
	J0224	♂	令(れい)	2020年10月鳴門市で事故死
	J0225	♀	和(かず)	2020年10月京都府で事故死
2020	J0278	♂	渦(うず)	京都府京丹後市(2024年6月下旬)
	J0279	♀	めい	福井県越前市(2024年6月下旬)
	J0280	♂	海(かい)	栃木県栃木市(2024年4月下旬)
2021	J0346	♀	えがお	栃木県栃木市(2024年2月中旬)
	J0347	♀	にじ	2022年11月香川県丸亀市で病死
	J0348	♀	花(はな)	兵庫県加古川市(2022年10月下旬)
2022	J0418	♂	爽(そう)	鳴門市(2024年6月中旬)
	J0419	♂	大(だい)	福井県三方上中郡(2024年6月中旬)
	J0420	♀	なみ	福井県三方上中郡(2024年6月下旬)
2023	J0509	♀	はる	鳴門市(2024年6月中旬)
	J0510	♀	月(つき)	鳥取県八頭郡(2024年6月上旬)
	J0511	♂	碧(あお)	2023年7月兵庫県豊岡市で事故死
2024	J0705	♂	幸(こう)	鳴門市(2024年6月下旬)
	J0706	♂	陽(よう)	鳴門市(2024年6月下旬)
	J0707	♀	凧(なぎ)	鳴門市(2024年6月下旬)
	J0708	♀	結(ゆう)	鳴門市(2024年6月下旬)

足環装着

2024年5月24日、徳島県の足環装着プロジェクトチームが、孵化後41日の4羽のひなに足環を装着。2017年以来8回連続の足環装着でしたが、4羽は初めてでした。平均体重は8年間で2番目に重く、一番重いひなは約5.3kgで最高記録でした。コウノトリ基金は、装着のための調査、データ分析、機材調達などを担当しています。



個体番号	性別	体重(g) 5月24日計測	愛称
J0705	オス	4,615	幸(こう)
J0706	オス	5,295	陽(はる)
J0707	メス	3,935	凧(なぎ)
J0708	メス	3,325	結(ゆう)

今年のひなの愛称は大津西小学校の児童が応募したの中から選定されました

巣立ち

2024年6月25日早朝に4羽が巣を飛び立ち、揃って巣立ちました。孵化推定日から巣立ちまでに要した日数は、これまで7年間の平均と同じ73日でした。

4羽のうちJ0707（凧）は6月28日の夜から消息が分からなくなりました。



巣立ち直後の幼鳥 2024年6月25日

● 碧（あお）が死亡

2023年に鳴門で生まれたJ0511オス碧（あお）が、2023年7月23日に兵庫県豊岡市で死亡しているのが見つかりました。鳴門板東ペアの子ども20羽のうち、残念ながら7羽が死亡し（ほか1羽が長期消息不明）、碧は生後最も早く死亡してしまいました。

● 負傷・死亡個体の対応

負傷や死亡個体の情報を得た際に、状況確認や経過調査、収容を行っています。2023年7月～2024年6月の1年間では、6個体について対応しました。徳島への飛来数が増えるにつれて、負傷・死亡個体数も増えてきています。



緊急収容した負傷個体（J0486）に、とくしま動物園の獣医師が応急措置を行う 2024年1月31日夜 大谷ベース

● ビオトープ周辺に生息する水生動物の展示

大谷ベース内に水槽を設置し、ビオトープや周辺の川、用水路に生息している魚や巻貝、エビを飼育展示しています。



● 地元住民による新たなビオトープの整備

鳴門板東ペアの巣が位置している地域の住民や農家で組織する「萩原地区資源保全協議会」が、2023年秋から巣のすぐそばにビオトープの整備を始めました。

コウノトリ基金は技術支援を行なっています。このビオトープは、撮影・観察自粛要請エリア内に位置しますので、見学はご遠慮ください。



ビオトープ整備の様子 2023年11月

● はく製の展示

板東南ふれあいセンターのはく製の展示場所が、玄関に変わりました。アクリルケース越しではありますが、コウノトリの大きさや体のつくりを、近くでじっくり観察することができるようになりました。

松茂町歴史民俗資料館でも、2024年3月からコウノトリのはく製が展示されています。このコウノトリは、2023年6月に松茂町内で死亡した個体番号J0266（2019年豊岡市生まれのメス）で、コウノトリ基金が死亡確認や収容などに関わりました。コウノトリのはく製は、徳島県内ではこの2か所の他、県立博物館が収蔵・展示しています。



板東南ふれあいセンター



松茂町歴史民俗資料館

● 巣の下の植生管理

巣の下から伸びたクズのつるが巣に到達してしまい、このままではコウノトリの足がつるにからまる事故につながる可能性があるため、つるを切り、巣の下の藪を刈り払いました。



巣の下の植生の刈り払い作業 2023年11月

● コウノトリ普及活動

コウノトリのことや、当基金の活動を知っていただくために、様々な機会をとらえてパネルやコウノトリの実物大タペストリー、モニターでの上映などの展示を行いました。



実物大タペストリーの展示と取組紹介動画の上映 2023年9月 文化の森 日本野鳥の会徳島県支部野鳥展2023



活動紹介パネルと実物大タペストリーの展示 2023年9月～10月 とくしま動物園



さわれるはく製と活動紹介動画の上映 2023年10月 JA徳島北 地域活性化ふれあいフェスティバル

● コウノトリれんこんを応援

2024年2月に、関東圏の東急ストア5店舗で徳島フェアが開催され、「コウノトリれんこん」が登場しました。

とくしまブランド機構などが企画したもので、コウノトリ基金は生産者との調整役を担いました。コウノトリれんこんの関東進出に期待が膨らみます。



東急ストアでの販売の様子 2024年2月

● 認定NPO法人になりました



2023年8月29日付で徳島県からNPO法に規定される「認定特定非営利活動法人（認定NPO法人）」として認定を受けました。

認定NPO法人とは、NPO法人のうち、運営組織及び事業活動が適正であって、公益性に関して一定の基準に適合したのものとして、所管庁の認定を受けたものをいいます。認定NPO法人は全NPO法人の2%程度（徳島県では11法人）だそうです。

認定NPOに対する寄付（年会費含む）は、税制上の優遇措置が受けられます。詳しくは13ページをご覧ください。

引き続き、私たちの取組への応援よろしくお願いたします。

Action ▶ ビオトープの整備

大島田地区（鳴門市瀬戸町島田島）

島田島にコウノトリを呼ぶ会と共同で進めているビオトープ整備は2年が経過し、たくさんの生き物が生息できる環境が整いつつあり、水生動物も増え始めました。まだ安定的ではないものの、コウノトリの飛来も増えて来ています。



ビオトープでねぐらをとるコウノトリの群 2024年4月



地元の人が描いた看板を設置 2024年4月



ビオトープで採餌するコウノトリ 2024年2月

※このビオトープ整備は、米国コカ・コーラ財団の助成を受けています

牛屋島地区（鳴門市大麻町）

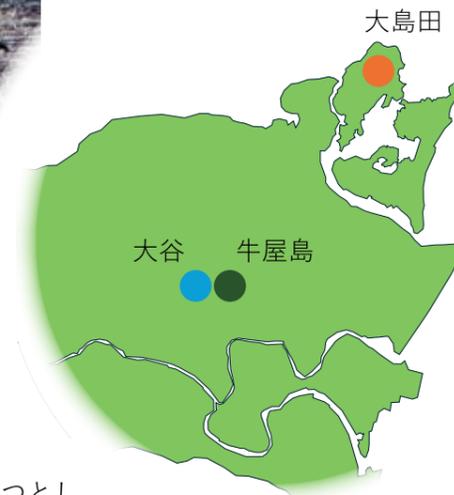
整備着手後3年目になり、サントリー世界愛鳥基金の助成事業としては最終年でした。水路の増設や水深調整のための工事のほか、夏場の作業時や観察会の際に日陰で休憩ができるよう、東家やベンチを設置しました。生き物も増えつつあり、まだ時々ですがコウノトリもやって来ています。



ビオトープで採餌 2024年2月



6羽が休憩中 2024年2月



ウナギ魚礁の設置実験 2024年5月



草刈り作業 2023年11月

大谷地区（鳴門市大麻町）

ビオトープの一部は、水稻を栽培しながら水生動物を増やす実証実験をしています。その方法の一つとして、収穫が近づき水田から水を落とした後も水生動物が生き残れる場所「退避溝」づくりに取り組んでいます。退避溝にはメダカやオタマジャクシ、ヤゴなどがたくさん生息するようになりました。



退避溝づくり 2024年2月



退避溝で水生動物を観察 2024年5月

※このビオトープ整備は、一般財団法人日垂ふるさと振興財団の助成を受けています



県産の杉で作ったベンチを3台設置 2024年3月



県産の杉で作った東家を2つ設置 2024年3月

※このビオトープ整備は、サントリー世界愛鳥基金の助成を受けています

Partnership ▶ 地域みなさんと一緒に

● ビオトープ米でお酒を造るプロジェクト

お米生産者・本家松浦酒造場・とくしまコウノトリ基金が連携し、ビオトープ米で日本酒をつくるプロジェクトが、今年も進んでいます。5年目の2024年は、鳴門板東ペアの巣の真下で米作りをしている農家が取組に参加して下さることになり、生産農家は計3軒となりました。

新たな取組として、気候変動について学んでいる板東小学校の6年生が、化学肥料や農薬を減らした米作りを知る一貫として、田植えを体験しました。秋には稲刈りと試食会も開催予定です。

コウノトリの酒「朝と夕」のラベルデザインは、コウノトリのペアの出会いから、子育て、巣立ちというストーリーで展開していましたが、今回はラベルとボトルを一新し、ふくよかな香りと米の甘みを感じる味にあったデザインになりました。

※このプロジェクトは、一般財団法人日垂ふるさと振興財団の支援を受けています



板東小学校の児童による田植え 2024年6月



プロジェクトメンバー（米生産者、酒蔵、コウノトリ基金）



新ボトル

● コープ自然派「田んぼの楽校」

有機農業に取り組んでいる地元の佐々木農園さんと連携し、大谷ビオトープの一角でコープ自然派の「田んぼの楽校」の運営を支援しています。

2023年春から秋まで、月1回、コープ自然派組合員の親子で田植え、草抜き、収穫まで、化学肥料や農薬を使わずに育てました。2024年も新たな参加者と、田植えや草抜きを行いました。

毎回、田んぼの生き物を観察し、最後はお米を炊いて食べるまで様々な体験を通して農業を学んでいます。



手刈りで収穫 2023年9月



かまど&羽釜で炊飯 2023年10月



定規を使って田植え 2024年6月



水路で生き物探し 2024年6月

● ボランティアチーム「クレイドル」の活動

とくしまコウノトリ基金の活動を支えるボランティアチーム「クレイドル（英語で“ゆりかご”の意味）」は、毎月第1、3土曜日を定例活動日として、ビオトープの整備をはじめ様々な活動をしています。

▶ ビオトープ整備

春から秋は、ビオトープの草刈りやお米づくりをしているビオトープの草抜きをしています。冬は、魚道の補修やビオトープの改良といったメンテナンス作業をしています。シュロや竹を使って作成していた産卵床を、ヨシを束ねて実験したところ、産卵が確認できました。



ビオトープの畦草刈り



ヨシを束ねた産卵床づくりと産みつけられた魚の卵

▶ バットボックスづくり

昆虫食のコウモリは、農業害虫を食べている可能性があります。ビオトープ周辺を飛んでいるコウモリの生態を調べるため、徳島大学と協働で巣箱を作りました。鳥用とは構造がかなり違う巣箱です。先に作ったものは1頭しか入居してくれなかったため、改良した巣箱を増設しました。今回は気に入ってくれるでしょうか。



三層構造のバットボックス
コウモリは下から出入りする

▶ 無農薬でのお米づくり

大谷ベースの近くにあるビオトープのうち4枚の田んぼでは、ボランティアチームと徳島大学の学生のみなさんと、化学肥料も農薬も使わずにお米を育てています。大学生や、ボランティアチームのジュニアメンバーの小学生と中学生もコンバインや田植え機に挑戦しました。収穫したお米は、収穫祭でみんなで食べたり、ボランティアメンバーで分けました。



ほとんどのメンバーは
田植え機もコンバイン
も初めての体験

🌸 活動への協力者を募集しています

管理しているビオトープの草刈りや、魚道の修理作業のほか、生物調査、記録撮影、イベントの企画・運営、資料づくりなどにご協力頂ける方を募集しています。

🌸 講演依頼、社員研修を受け入れています

コウノトリがどんな鳥なのか、コウノトリ基金の取組が地域活性化やSDGs達成にどう関わっているかの説明の他、ビオトープ整備やれんこん掘り取り体験、コウノトリ観察会などのフィールドワーク・プログラムも実施しています。

お問い合わせは、メール：info@t-stork.jp 電話：090-2825-6721 までお願いします

Network ▶ 交流

県内外から、また国外からも多くの団体が、私たちの活動やコウノトリの生息状況を視察に来られるようになり、広く交流が進みつつあります。
下にご紹介したほかに、日本野鳥の会佐賀県支部有志（2023年7月）、鹿児島県出水市長（2023年8月）、コープ自然派おおさか（2023年10月）、ラムサール・ネットワーク日本（2024年2月）の皆さんがお越し下さいました。
ドイツに関しては、ドイツの環境保護団体とコウノトリや湿地環境の共同研究を通じた交流の準備を進めています。

ドイツ・リュネブルク市使節団

鳴門市の姉妹都市であるリュネブルク市の使節団が鳴門市を訪問された際に、コウノトリ基金の活動を視察に来て下さいました。



活動状況を
プレゼン

2023年10月

中央の女性がリュネブルク市長

日本野鳥の会佐賀県支部

コウノトリ基金メンバーが2023年6月に訪問させて頂いた佐賀県から、ビオトープ整備について勉強に来られました。



2024年1月 牛屋島ビオトープを案内

サントリー世界愛鳥基金

2021年～2023年まで牛屋島ビオトープの整備などに助成をして頂いたサントリー世界愛鳥基金の皆さんが、事業実績などの調査に来られました。



島田島ビオトープ

2024年5月



2024年2月 大谷ベースで交流



板東南ふれあいセンター

Education ▶ 環境学習

小学校から大学まで、また様々な団体に対して、環境学習プログラムを提供しています。
コウノトリを含むたくさんの生き物や、生き物を育む環境、農業の大切さの学びを大切にしています。

堀江北小学校

1学期に7回の授業を実施しているほか、2023年12月には栃木県小山市の下生井小学校とオンラインで交流授業も行いました。



2024年6月 水生動物を学ぶフィールドワーク

板東小学校

2024年5月から、エコみらいとくしま（NPO法人環境首都とくしま創造センター）に協力しコウノトリや農業について学ぶ授業を担当しています。



2024年5月 コウノトリについての講義

鳴門渦潮高校

地域を学ぶ授業の一環で、コウノトリ基金の取組と鳴門の特産であるれんこんが、コウノトリにとっていい餌場になっていることを紹介しました。



2023年9月 コウノトリ基金の活動を講義

徳島大学

耕作放棄地問題について学んでいる、理工学部社会基盤デザインコースの学生のフィールド実習を受け入れました。



2024年5月 産卵床作りの実習

「コウノトリの子育て 鳴門板東ペアの奮闘記2023」を制作

巣の近くに設置している観察カメラ（無人、固定）の記録映像を編集し、2023年の鳴門板東ペアの巣作りからひなの巣立ちまでを5分ほどの動画にまとめました。
この動画は、学校などでの環境学習で活用しています。
本家松浦酒造場の直売所（ナルトタイの店）でもご覧いただけるほか、YouTubeでも公開していますので、ぜひご覧ください。



YouTube

ご寄付有難うございました

裏表紙で紹介しているコウノトリ応援商品の売上からのご寄付のほかに、次の皆様からご寄付を頂戴しました。掲載はご寄付の日付順です。

- 寄付金 アオアヲ ナルト リゾート様 米作り体験参加メンバー様 井関様
 リューネブルク市使節団有志様 宮尾博一様 コープ自然派事業連合様
 株式会社鹿草組様 渡辺沙央里様
- 物品寄贈 有限会社八木土建様 株式会社もくさん様

新しいご寄付のスタイルご紹介

アオアヲ ナルト リゾート様が、2024年1月から、ホテル内にコウノトリ基金への寄付金付き自動販売機を2台設置してくださいました。7月以降には、さらに2台増やして下さる予定です。



コウノトリ応援商品の販売コーナーができました

本家松浦酒造場様が、2024年4月から、直売所「ナルトタイの店」に十数種類のコウノトリ応援商品の展示コーナーを設け、販売して下さるようになりました。



商品展示棚にはモニターを置きコウノトリの動画を上映しています。

認定NPO法人への寄付金、会費は税制上の優遇措置の対象となります

とくしまコウノトリ基金は、2023年8月に徳島県から「認定NPO法人」に認定されたため、当法人への寄付金（年会費を含む）は、税制上の優遇措置の対象となります。

- 個人が寄付をされた場合：所得税及び住民税の「寄附金控除」を受けられます。確定申告が必要です。住民税の控除は徳島県内在住の方に限ります。
- 法人が寄付をされた場合：「特別損金算入限度額」が適用されます。
- 相続人が相続財産を寄付された場合：「相続税が非課税」になります。

寄付金や年会費の納入時に、上記の優遇措置を受ける際に必要な「寄附金受領証明書」を発行いたします。

企業・団体
(左から縦に入会順 敬称略)

- | | | |
|------------------|----------------------|-----------------------|
| 徳島北農業協同組合※ | 喜多機械産業株式会社 | 株式会社テレビ鳴門 |
| 大津松茂農業協同組合 | 株式会社姫野組 | 一般社団法人徳島経済同友会 |
| 徳島県危機管理環境部 | 株式会社ネオビエント | 井上建設株式会社 |
| 大久保産業株式会社 | 公益財団法人徳島県勤労者福祉ネットワーク | 株式会社中岸商店 |
| 株式会社阿波銀行 | 四国高速運輸株式会社 | 徳島県森林組合連合会 |
| 公益財団法人とくしま産業振興機構 | 四国電力株式会社徳島支店 | 株式会社徳松 |
| 一般社団法人徳島新聞社 | 四国電力送配電株式会社徳島支社 | ケーブルテレビ徳島株式会社 |
| 四国放送株式会社 | 株式会社エコー建設コンサルタント | 国立大学法人鳴門教育大学 |
| 一般財団法人徳島県観光協会 | 株式会社 ヨ シ ミ | 東とくしま農業協同組合 |
| JA徳島中央会 | 有限会社丸喜商店 | 徳島製材団地協同組合 |
| JA全農とくしま | 有限会社八木土建 | 株式会社三木組 |
| JAバンク徳島信連 | 公益社団法人徳島県物産協会 | 有限会社吉本商店 |
| JA共済連徳島 | 徳農種苗株式会社 | 四国化工機株式会社 |
| JA徳島厚生連 | 医療法人倚山会田岡病院 | NPO法人 生活楽校 学びの社 |
| 四国建設コンサルタント株式会社 | 総合ビル・メンテム株式会社 | 株式会社本家松浦酒造場 |
| 一般社団法人徳島県建設業協会 | 徳島県医師会 | 株式会社Brave はな薬局 |
| 徳島県土地改良事業団体連合会 | 株式会社アルボレックス | 有限会社ジャンプ工業 |
| 株式会社松本コンサルタント | 東海運株式会社 | 株式会社コープ有機 |
| 国立大学法人徳島大学 | 株式会社ダイリ F P C | 生活協同組合コープ自然派しこく |
| 阿波観光ホテル | 徳島県漁業協同組合連合会 | 株式会社ゆりっ子 |
| 菊池産業株式会社 | 学校法人四国大学 | 花れんこん |
| 株式会社フジタ建設コンサルタント | 森田緑化株式会社 | アオアヲナルトリゾート (エイチオーエス) |
| 株式会社 徳島大正銀行 | 徳島トヨペット株式会社 | 島田島活性化プロジェクト |
| 社会医療法人川島会 | 板野郡農業協同組合※ | 岸化学グループ |
| コウノトリ定着推進連絡協議会 | 赤松土建株式会社 | 日亜化学工業株式会社 |
| 徳島信用金庫 | 光設計株式会社 | 石原金属株式会社 |
| 日本野鳥の会徳島県支部 | 富田製薬株式会社 | 株式会社ときわ |
| ニタコンサルタント株式会社 | 徳島県建設業協会鳴門支部 | 株式会社マルハ物産 |

※2024年4月1日から徳島県農業協同組合

個人

(23名のうち公開に同意いただいた方のみ掲載しています 敬称略)

- | | | | | | | |
|-------|--------|-------|-------|-------|--------|-------|
| 安井 俊之 | 北岡 和義 | 藤原 学 | 西村 宏昭 | 小林 正美 | 広瀬 和範 | 庄野 昌彦 |
| 小笠原 章 | 梶川 寿幸 | 阿部 徳男 | 西村 耕世 | 吉田 一郎 | 伊沢 幸雄 | 甲藤 知之 |
| 八尾 和樹 | 熊谷 美智子 | 仁木 祐佳 | 西村 秀美 | 小澤 俊樹 | 萬宮 千鶴子 | |

ご支援、ご入会をお願いします

たくさんの個人や企業、団体の皆様の支えがあって、活動を展開することができます。賛助会員、協力会員としてご参加いただき、ご支援をお願いいたします。



S N S

コウノトリやコウノトリ基金の活動の最新情報は、HPのほかSNSで発信しています。



Partnership ▶ コウノトリ応援商品



このマーク
が目印

私たちの活動に賛同していただいた企業、団体が販売しているコウノトリとの共生を目指すコウノトリ応援商品をご紹介します。売上の一部をコウノトリ基金の活動にご寄付いただいております。



花れんこん

鳴門ピクルス 花れんこん

鳴門のれんこんを使ったピクルス。歯ごたえのある蓮の水中茎、栗のような食感の実、れんこんをまるごとお楽しみいただけます。

* 販売場所 徳島阿波おどり空港、道の駅くるくるなると、小さな地域商社 スイミーオンラインショップ他



オンライン
ショップ



古代蓮茶

株式会社Braveはな薬局

島田島活性化プロジェクトが無農薬で育てた古代蓮の葉のお茶。

* 販売場所 Braveはな薬局、オンラインショップ

オンライン
ショップ



れんこんカレー 薬膳粥

NPO法人れんこん研究会

「コウノトリれんこん」がたくさん入った、健康と美味しさにこだわったカレーと薬膳粥。

* 販売場所 農産物直売所えがお、道の駅第九の里、なると物産館



れんこん入りゆずみそ

株式会社ゆりっ子

徳島県産農薬不使用ゆずと、特製の阿波御膳みそで作った、原材料国産100%・保存料着色料無添加の手作りゆずみそに徳島県産のれんこんを加えた「おかずみそ」。

* 販売場所 県内スーパー、道の駅くるくるなると、オンラインショップ他

オンライン
ショップ



コウノトリれんこん

JA徳島県鳴門支店 特別栽培部会
こうのとり農産合同会社

コウノトリの生息、繁殖を支えてくれているレンコンを、特別栽培（農薬・化学肥料を慣行の5割減）で生産。鳴門市の「コウノトリおもてなし」認証商品。

* 販売場所 JA徳島県鳴門支店、農産市二十二世紀



コウノトリの酒 朝と夕

本家松浦酒造場

鳴門板東ペア“あさひ”と“ゆうひ”が子育てする巢の近くで、特別栽培（農薬・化学肥料を慣行の5割減）で育てたお米でつくられた日本酒。

* 販売場所 本家松浦酒造 ナルトタイの店、県内スーパー他



オンライン
ショップ



古代米 阿波音

島田島活性化プロジェクト

島田島で栽培した、黒米、赤米、緑米と、3種類をブレンドした古代米ブレンドのセット。白米を炊く時に本品を混ぜるだけで、古代米をお楽しみいただけます。

* 販売場所 道の駅第九の里、農産物直売所えがお、本家松浦酒造 ナルトタイの店他



蓮華玉念珠 蓮華玉本草ストラップ 蓮華玉ブレスレット

島田島活性化プロジェクト

島田島で収穫された蓮の実を使った数珠、ストラップ、ブレスレット。蓮は、発展や叡智の開花、仏教を象徴する花。校量数珠功德経というお経には、蓮子の数珠はその福の万倍と書かれています。

* 販売場所 道の駅第九の里、なると物産館、本家松浦酒造 ナルトタイの店他



れんこんの雫

島田島活性化プロジェクト

鳴門産のれんこんのパウダーを混ぜ込んだ、のどにやさしい飴です。

* 販売場所 道の駅第九の里、なると物産館、本家松浦酒造 ナルトタイの店他



コウノトリを育む 大谷川カヌーツアー

NPO法人川塾

コウノトリの生息域を大きく蛇行して流れる大谷川を、地域の歴史や生息する生き物を紹介しながらカヌーでゆっくりとくぐります。

* 販売場所 川塾ホームページ



予約ページ



SDGsコウノトリ応援 宿泊プラン

アオアヲナルトリゾート

鳴門公園に立地しているホテル・アオアヲナルトリゾートの利用者とホテルから、当基金に寄付していただく宿泊プラン。

* 販売場所 アオアヲナルトリゾートホームページ



予約ページ

はばたき866

有限会社 丸喜商店

「コウノトリおもてなし」認証に必要な栽培方法に適合する、有機質成分の多いれんこん用肥料。環境にやさしい稲作にも使えます。

* 販売場所 JA徳島県鳴門支店

